

心が和む  
紅花のみち



お問い合わせ

やまがた観光情報センター TEL.023-647-2333 (10:00~18:00、年中無休)

やまがた広域観光協議会(山形県村山総合支庁観光振興室) TEL.023-621-8444 (月~金 8:30~17:15)

## 日本人と紅

日本人にとって「赤」は生命を象徴する色として呪術的、祭祀的な意味合いを持っていました。人生の節目で行われる「初宮参り」、「七五三」、「婚礼」、「還暦」などの儀式では「紅」が魔除けとして使われるなど、昔から「赤」そして「紅」は日本人の生活に根付いていました。



## 山形と紅花

### 紅花の伝来

原産地はエチオピアともいわれ、エジプトからシルクロードをたどって6世紀頃に日本に伝来したといわれています。山形県では15世紀半ばから栽培が始まったとされていますが、江戸初期には質・量とも日本一の紅花産地として栄え、最盛期には全国の50～60%を山形産が占めました。「まゆはきを俵(おもかげ)にして紅紛(べに)の花」の句は、芭蕉が奥の細道の旅の途中、この地を訪れた時に詠んだものです。当時は、紅花なくして山形を語れなかったのでしょうか。

### 山形に広まったきっかけ

気候・土壌が栽培に適していたということもありますが、山形の他に、奥州福島・奥州仙台・奥州三春・西国肥後・尾張・遠江・相模などで生産されていたので、気候・土壌が決定的な要因だったというわけではなさそうです。むしろ、最上川の舟運で山形と京都や大阪が北前船によって深く結びつき、紅花商人たちが活躍したことが、産地の拡大に繋がったといわれています。

### 明治以降の紅花

明治に入ると外国からの化学染料が台頭し、紅花生産は急に衰退してしまいます。しかし戦後になって、山形県を代表する花として再び紅花が注目されはじめます。

近年は天然染料として見直されてきており、山形県内では昔ながらの製法で作られた紅もちやすり花が生産されています。

## わずか1%の紅花

収穫時期の紅花畑は一面、黄色で埋め尽くされます。紅花からは黄色と紅色の二色を抽出することができますが、そのうち99%以上が黄色、残りのわずか1%未満が紅色です。紅花からとれるほんのわずかな「紅」の原料となる紅もちの価格は、「米の百倍、金の十倍」と謳われるほど高級だったのです。

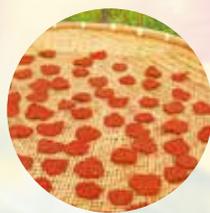
### まめ知識 1

#### はんげ 半夏ひとつ咲き

夏至から数えて11日目、半夏生のその日。まだ青々とした紅花畑にたった一輪の花が開きます。これを合図に紅花畑は日ごと鮮やかな黄色に染まります。何本植えていても、咲き始めるのはこの日たった一輪だけ。紅花の不思議です。



### 紅花の加工品



紅もち(花もち)

紅花染めなどに使用



すり花

紅花染めなどに使用



乱花

主に食品加工品に使用

### まめ知識 2

#### 紅花若菜

紅花の若菜は、クセもなくおいしい食材です。近年は、新しい食材として、スーパーや産地直売所などで販売されるようになりました。若菜を天日干したものは「紅花(若菜)干し」といわれ、保存食として煮物の材料に最適です。





# 紅花まつり



## 山形紅花まつり

山形市

毎年7月上旬に、映画「おもひでぼろぼろ」の舞台のモデルになった山形市高瀬地区で開催されます。紅花のプレゼントや即売、写真撮影会など楽しい催しがたくさんあります。

- ◆開催時期／7月上旬
- ◆場所／山形市高瀬地区(高瀬紅花ふれあいセンター・高沢地区)
- ◆問合せ／山形紅花まつり実行委員会 TEL:023-686-3341



## 河北町紅花資料館べに花まつり

河北町

毎年7月上旬に紅花資料館で開催されます。紅花の生花を使ったリース作りや、紅花染め体験が好評です。庭園では紅花畑、施設内では絢爛豪華な紅染め衣装の数々を鑑賞できます。

- ◆開催時期／7月上旬
- ◆場所／河北町紅花資料館
- ◆問合せ／(一社)河北町観光物産協会 TEL:0237-72-3787

## おくのほそ道天童紅花まつり

天童市

約3万本の紅花が鮮やかに咲き誇り、遠くに月山を望める市内上貫津紅花畑で、7月上旬に開催されます。紅花を使用したお菓子の販売や紅花染め・ミニリース作り等の体験が楽しめる、見てよし、染めてよし、食べてよしのイベントです。

- ◆開催時期／7月上旬
- ◆場所／上貫津紅花畑
- ◆問合せ／天童市経済部商工観光課 TEL:023-654-1111



## 白鷹紅花まつり

白鷹町

紅花生産量日本一を誇る「日本の紅(あか)をつくる町」白鷹町で、「紅花まつり」を開催します。白鷹町まちづくり複合施設のメイン会場では、白鷹町の美味しい・楽しいが詰まった「紅花マルシェ」を開催。また、町内の紅花畑の周遊もお楽しみいただけます。

- ◆開催時期／7月上旬
- ◆場所／白鷹町まちづくり複合施設(白鷹町役場)・町内一円の紅花畑 ほか
- ◆問合せ／(一社)白鷹町観光協会 TEL:0238-86-0086

## 旧柏倉九左衛門家紅花まつり

中山町

紅花栽培や交易を生業にしていた旧柏倉家で毎年6月下旬に開催されます。一族の屋敷4カ所を会場として開催されます。

- ◆期日／6月下旬
- ◆場所／旧柏倉家住宅 ほか
- ◆問合せ／柏倉九左衛門家紅花まつり実行委員会  
TEL:023-662-2175



河北町 村山市 大石田町 尾花沢市

# 最上川舟運による紅花交易が育んだ 紅花文化ゆかりの地を訪ねてみましょう

最上川の中流域は、氾濫原と朝霧や朝露が降りやすい気候条件で紅花栽培に適し、沿岸の集落は紅花の主要な産地となりました。また、紅花は最上川舟運により上方に運ばれ、豊かな文化がもたらされました。紅花交易で栄えた地に行ってみませんか。



## 1 河北町紅花資料館 河北町

紅花染め体験や  
ガイド付き見学も  
できます。  
(要予約)



江戸時代、紅花商で財を成した旧堀米邸を紅花資料館として修復整備した施設です。堀米家の歴史をゆかりの品とともに公開しています。さらに、山形と紅花の歴史を紹介する常設展や、紅染衣装や雛人形など季節ごとの企画展を見学できます。

河北町谷地成1143 ☎0237-73-3500 営 9:00~17:00(3月~10月)、9:00~16:00(11月~2月)  
休 毎月第2木曜日(祝日の場合は翌日) 12月29日~1月3日 料 大人400円、高校生150円、児童生徒70円



## 2 林家舞楽 河北町

山寺建立とともに上方より伝えられた舞楽です。谷地八幡宮神職林家により一子相伝で1100余年にわたり伝承されています。9月の谷地八幡宮例大祭(谷地どんがまつり)において、厳かに奉奏され、その時に紅花染めの衣装が用いられます。

谷地八幡宮 河北町谷地224 ☎0237-72-2149  
時 谷地どんがまつりに開催(敬老の日を含む3連休)

## 3 大石田町立歴史民俗資料館 大石田町

歌人 齋藤茂吉や洋画家 金山平三、日本画家 小松均など、大石田町にゆかりのある文学者や芸術家の作品をはじめ、江戸時代後期に描かれた「大石田河岸絵図」など、最上川舟運と紅花を積み出した大石田河岸に関する資料や雛人形等を収蔵・展示しています。



大石田町大石田乙37-6 ☎0237-35-3440  
営 10:00~16:30  
休 毎週月曜日(祝日は開館・祝日の翌日)、12月29日~1月3日、展示替え時  
料 大人300円(6人以上の団体に1人250円)、高校生以下無料

## 4 おばなざわ花笠まつり(尾花沢まつり囃子) 尾花沢市

毎年8月27日・28日に開催される「おばなざわ花笠まつり」では、花笠踊り発祥の地「尾花沢」の本物の花笠踊りが披露されます。大正時代灌漑用水「徳良湖」の築堤の際に唄に合わせて即興で振り付けられたのが始まりと言われてます。また、花笠まつりの初日に行われる諏訪神社大祭。その祭囃子は、紅花交易が盛んだった頃にもたらされた宮廷の流れをくむ組曲です。諏訪神社の遷宮を祝う出し物として奉納されています。



尾花沢市商工観光課 ☎0237-22-1111

## 5 芭蕉、清風歴史資料館 尾花沢市



旧丸屋・鈴木弥兵衛家の店舗と母屋を復元した貴重な建物です。紅花を扱う商人で尾花沢の豪商として知られた鈴木清風の芭蕉に関する貴重な資料の収集、保存、展示を行っています。

尾花沢市中町5-36 ☎0237-22-0104  
営 9:00~16:30(3月~10月)、9:30~16:30(11月~2月)  
休 毎週水曜日、展示替え時、12月28日~1月4日  
料 詳細はHPをご覧ください。

## 6 最上川三難所舟下り 村山市

最上川三難所(暮点・三ヶ瀬・車)は流れが急で、岩盤がむき出しになっている所が多く、最上川舟運が栄えていた時代は、船頭たちに最も恐れられていた難所でした。現在は、多くの方がスリルのある舟下りを楽しんでいます。



村山市大字稲下字金谷1110-2 ☎0237-56-3535  
営 出航時間/10:00、11:50、14:00、16:00(1日4便)  
(冬期間は要予約)  
料 大人2,500円、子ども1,250円(団体割引有)

## ちょっと寄りみち【産直センター】 紅花切花、紅花若菜等取り扱っています。



アグリランドひな産直センター  
紅花切花、紅花若菜、紅花乱花など  
紅花商品の販売  
河北町谷地字下野281 ☎0237-85-1610  
営 9:00~18:00



アグリランド産直センター  
紅花切花の販売  
寒河江市寒河江久保2 ☎0237-84-7888  
営 9:00~18:00(4月~12月)  
9:00~17:00(1月~3月)  
休 1月1日~1月3日



よつてけポポラ 東根市  
紅花切花の販売  
東根市中央東3-7-16 ☎0237-41-0288  
営 9:00~17:30(6月~11月)  
9:30~17:30(12月~5月)  
休 1月1日~1月3日



どりいむ農園直売所 白鷹町  
紅花切花、紅花若菜、紅花若菜干し、  
紅花入り漬物・菓子などの販売  
白鷹町畔藤9053-30 ☎0238-85-2922  
営 9:00~18:00 休 1月1日~1月5日

天童市 寒河江市

# 芭蕉が紅花の句を詠んだ旧山寺街道や 出羽の古刹を訪ねてみましょう

芭蕉が尾花沢から山寺へ向かう途中に紅花畑を見て詠んだと言われている句碑や縁結びの観音様として親しまれている若松寺、厳かに時を刻む慈恩寺を巡ってみるのはいかがでしょうか。



## 1 本山慈恩寺本堂 寒河江市

天平18年(746年)にインドの婆羅門僧正が聖武天皇の勅命により開山。現在の本堂は元和4年(1618年)に山形城主最上氏が再建。堂内には秘仏33体を含む多くの仏像が安置され「文化財の宝庫」と言われています。5月5日の慈恩寺舞楽では、紅花染め衣装をまとった演目も奉納されます。



寒河江市大字慈恩寺地籍31 ☎0237-87-3993 営9:00~16:00  
料 大人700円・高校生500円・小中学生200円

多くの文化財  
があります。

## 2 鈴立山若松寺 天童市

和銅元年(708年)に開山した霊場です。室町時代に入り観音信仰が栄え、最上三十三観音の第一札所霊場として隆盛を極めました。「縁結びの観音様」として有名であり、毎年多数の巡礼者が訪れています。



天童市大字山元2205-1 ☎023-653-4138

## 3 慈恩寺テラス 寒河江市



「時をつなぐ、場をつなぐ」をコンセプトに、国史跡・慈恩寺の魅力を伝える総合案内施設です。幅約20mの4Kラウンドシアターや、プロジェクションマッピングを用いた展示で、1300年の歴史と謎

を紐解きます。散策前の情報収集はもちろん、カフェやショップも併設しており、休憩スポットとしても最適です。

寒河江市大字慈恩寺1178-1 ☎0237-84-6811  
営9:00~17:00 休 毎月第2火曜日、年末年始 料 入館無料

## 4 私の部屋 天童市

綿ハンカチ、花瓶敷き、タペストリー、絹スカートなどの素材に、輪ゴムや割り箸、将棋駒でしばり模様や枝染めのように模様を作り、染め上げます。「紅花染め」は通年でできますが、「紅花すり染め」は紅花開花時期限定となっています。



天童市本町1-1-2 天童駅前バルテ1階 ☎023-654-5045  
営10:00~18:00 休 第3月曜日

## 5 将棋むら天童タワー 天童市



おみやげ品や特産品の販売、お食事をしていただける施設です。また、大判のローンハンカチに紅花染料で染めていただき、その場でお持ち帰りできる紅花染体験やそば打ち体験、将棋の書駒体験等の様々な体験教室もあります。

天童市久野本1273-2  
☎023-653-3222  
営8:30~17:30

## 6 芭蕉の句碑 天童市

芭蕉が、山寺参詣の途中、紅花畑を目にして詠んだと言われている場所に句碑があります。「肩掃きを俤にして紅粉の花」は、紅花の花が化粧の時に使う刷毛の形に似ていることから肩についた白粉を落とす女性の姿を思い描いたと言われています。



天童市上荻野戸地内

## 7 古澤酒造資料館 寒河江市



もともとは、紅花を扱う舟運業を営んでいました。天保7年(1836年)に創業した酒蔵で、資料館には、昔ながらの酒造りの道具等を展示しています。

寒河江市丸内3-5-7  
☎0237-86-5322  
営10:00~16:00  
休 年末年始

### ちょっと寄りみち【お茶のじかん】紅花を使用したおいしい食べ物はいかがですか？

#### 創業文久年間 文四郎麩 東根市

##### 紅花入り ふ餅

594円(税込)

小麦に含まれるグルテンの力でふっくらもちもちに蒸した「紅花入り ふ餅」。六田地区で昔から伝わる懐かしい伝統の味です。



東根市六田2-2-20 ☎0237-42-0117

#### 壽屋寿香蔵 東根市

##### 紅花染めたくあん

594円(税込)

天日でじっくり干した秋大根を漬け込んだ本格的なたくあんです。たくあんの黄色は山形県の花「紅花」を使って染めています。



東根市本町6-36 ☎0237-42-0173 営9:30~18:30

#### べに花茶

1袋 350円(税込)

紅花は昔から冷えに効く血行を良くする薬などに利用されていることからお茶にしました。また、乾燥させた紅花の種を焙煎することにより、香ばしく飲みやすくなっています。

販売元: 河北べに花茶  
取り扱い先: 河北町紅花資料館売店、  
アグリランドひな産直センター



# 紅花栽培の発展に寄与した山寺、紅花で栄えた豪商、豪農の屋敷を巡ってみましょう

山寺の開祖慈覚大師等によって伝えられたという説のある紅花栽培。山形市や中山町には江戸時代に紅花で財を築いた豪農、豪商の屋敷が今も残っています。この地を巡って古の紅花を想像してみるのはいかがでしょうか。



## 1 紅の蔵 山形市



かつて紅花商人として栄えた長谷川家の蔵屋敷を活用した施設です。観光情報をはじめ、旬産旬食をテーマとした食の発信、地産特産品や農産物の販売、初夏には紅花をテーマとした企画展示が行われています。

山形市十日町2-1-8 ☎023-679-5101 営店舗によって異なる 休1月1日～1月3日

産直、おみやげ、食事などが楽しめます。



## 4 旧柏倉家住宅 中山町



当主は九左衛門と名乗り、村山地方を代表する農家・地主であり、近世では同地方で最多級の紅花生産者となり、近代では金融業にも手を広げ豪農となりました。仏間や前蔵は、その高度な意匠や建築技術、ふんだんに用いられた漆や金箔、銘木は莫大な資産が投じられたものであり、信仰心の高さを示しています。令和元年9月に重要文化財に指定されました。(重要文化財)

中山町岡8 ☎023-687-1778(旧柏倉家住宅)

## 5 山寺芭蕉記念館 山形市



芭蕉が山寺を訪れてから300年を記念して平成元年に建てられました。記念館には芭蕉直筆の資料や紅花の栽培から収穫、紅もちに加工して上方まで運ぶ様子を描いた「紅花屏風」(県指定有形文化財)などを収蔵しています。喫茶コーナーでは抹茶も味わえます。

山形市大字山寺字南院4223 ☎023-695-2221

営9:00～16:30 休不定休、年末年始、展示替のため臨時定休日 料大人400円、高校生以下無料

## 6 山形花笠まつり 山形市

毎年8月5日から7日まで開催される山形花笠まつりは、威勢のいい掛け声と花笠太鼓の勇壮な音色の中、山車を先頭に、あでやかな衣装の踊り手が花笠を手に華麗な群舞を繰り広げる祭りです。花笠は、紅もちをむしろに広げて干す様子を表しており、踊り手が練り歩くさまは一面紅花畑が広がる光景を再現しています。



## 2 宝珠山立石寺(山寺) 山形市

慈覚大師円仁が貞観2年(860年)12月、清和天皇の勅許を得て創建したと伝えられる古刹です。紅花栽培に深く関わり、比叡山との縁故から近江商人を惹きつけ、紅花交易の発展を加速させました。元禄2年(1689年)、芭蕉が弟子の曾良とともに訪れ、「閑さや岩にしみ入る蝉の声」の名句を「奥の細道」に残しています。

山形市大字山寺4456-1 ☎023-695-2843

料入山料/大人(中学生以上)500円、小人(4歳児以上)200円

## 3 立石寺根本中堂 山形市

延文元年(1356年)初代山形城主・斯波兼頼が再建した入母屋造・5間4面の建物で、ブナ材の建築物では日本最古と言われています。堂内には、慈覚大師作と伝えられる木造大師如来坐像が安置され、伝教大師が比叡山に灯した灯を立石寺に分けたものを織田信長の焼き討ちで延暦寺を再建したときには逆に立石寺から分けたという、不滅の法灯を拝することができます。



料参拝料/200円

## 7 ふるさと資料館 山辺町

江戸時代以来の豪商佐藤清五郎家の土蔵を修理、復元したもので、三つの蔵と庭園からなっています。常設展示のほか、様々なテーマの企画展も行われています。紅花染め衣装は一年に一日限定で公開されます。



山辺町大字山辺208-1 ☎023-664-5033

営9:30～16:30(4月～10月)、10:00～16:00(11月～3月)

休月曜日、祝日、年末年始

料大人200円、学生100円(高校生以上)、小中学生50円

## ちよっと寄りみち【お茶のじかん】紅花を使用した銘菓はいかがですか？

### 乃し梅本舗 佐藤屋 山形市

#### 乃し梅

700円(税抜)～

江戸時代、紅花染めに用いるために多く栽培された梅の実を活用し、試行錯誤の末にできた元祖山形の名物菓子です。



山形市十日町3-10-36 ☎023-622-3108 営9:00～18:00

### 和菓子ぬまざわ 白鷹町

#### 羊羹 日本の紅(あか)

900円(税込)

白鷹町産の紅花を使用した色鮮やかな羊羹です。紅色羊羹には紅花の天然色素、黄色羊羹には紅花の花びらを練り込んでいます。



白鷹町大字荒砥甲716-4 ☎0238-85-2374 営8:30～17:30

白鷹町

# 紅花生産日本一、「日本の紅をつくる町」で 様々な体験をしてみましょ

紅花生産日本一を誇る「日本の紅をつくる町」白鷹町では、紅花染めはもとより、和紙漉き、織機など様々な体験ができます。また、紅花が咲いている時期には紅花摘み体験もできます。



白鷹町

### 1 紅花の館

のんびりと農山村風景の中で田舎暮らしが体験宿泊できる会員制農家山荘です。体験メニューのみも可で、紅花染め、ドライフラワーづくり、リースづくり、紅花酒づくり等の体験の他、紅花の開花時期には紅花摘み体験もできます。

白鷹町大字十王1707-1  
☎0238-85-1883  
営 9:00～17:00  
休 不定休

### 2 小松織物工房

白鷹町

全国でも珍しい「板締絨染め」という技法で絨染めを行っています。その技法は経済産業大臣指定の伝統工芸とされています。昔は織の工程を農閑期の農家に依頼していましたが、現在では染めから織りまでのすべての工程を工房で行います。約130年以上にわたり独特の技法を受け継いでいます。事前予約で体験できます。



白鷹町十王2200 ☎0238-85-2032 営 10:00～16:00 休 土・日・祝日



### 3 山峡紅の里

白鷹町

紅花をより身近なものとして感じてもらうために紅花関連商品の展示、紅花体験等行っている施設です。紅花まつり開催時には会場の一つとなり、大変きれいな紅花をご覧いただけます。

白鷹町大字十王4068-2 ☎0238-85-2102  
営 9:00～17:00 休 土日祝日(予約があれば体験可)



### 4 深山和紙振興研究センター

白鷹町

深山和紙は楮を原料とする手漉き和紙です。その起源は約400年前で、上杉藩の御用紙として用いられました。当センターでは、和紙漉き体験や絵つけ体験などをすることができます。

白鷹町大字深山2527 ☎0238-85-3426  
営 9:00～17:00(体験は4～11月 10:00～17:00) 休 不定休

### 5 白鷹人形研究会

白鷹町

深山和紙を使った、和紙花、結びびな、まるちゃん人形を作る体験ができます。(要相談)

白鷹町大字荒砥甲788-14 ☎090-7068-1293  
営 記載の電話番号にご連絡ください



## ちょっと寄りみち【おかいもの】河北町紅花資料館となりの物産館をのぞいてみました



紅花染めハンカチ  
大 2,100円 小 1,820円



紅花染めスカーフ 2,500円～



紅花染めチーフ 1,000円



紅花染めネクタイ 13,000円



小町紅 11,000円～



畳コースター 400円



卓球用紅花スリッパ 1,800円



紅花スリッパ 1,450円～

※すべて税込。この他にも紅花に関するお土産があります。



# 「日本遺産」 山寺と紅花 ストーリー



鬱蒼と茂る木々に囲まれた参道石段と奇岩怪石の景勝地「山寺」。

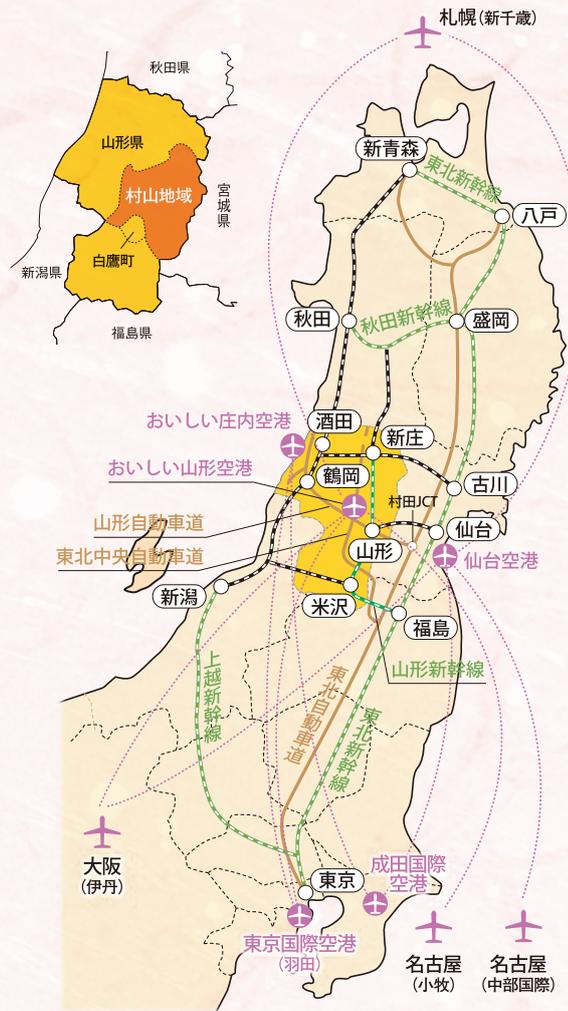
この山寺が深く関わった紅花栽培と紅花交易は莫大な富と豊かな文化をこの地にもたらした。

石積の堀と板黒塀に囲まれた広大な敷地を持つ豪農・豪商屋敷には白壁の蔵座敷が立ち並び、上方文化とのつながりを示す雅な雛人形や、紅花染めの衣装を身に着けて舞う舞楽が今なお受け継がれ、華やかな彩りを添える。

この地の隆盛を支えた山寺を訪れ、この地域に今も息づく紅花畑をして紅花豪農・豪商の蔵座敷を通して、芭蕉も目にした当地の隆盛を偲ぶことができる。



## ACCESS MAP



日本遺産「山寺と紅花」ホームページはこちら



### 交通アクセスのご案内

#### 東京から

飛行機で		羽田空港	JAL 約65分	おいしい山形空港	山形空港シャトル 約35分	山形市内
電車で		東京駅	山形新幹線「つばさ」 約2時間30分			山形駅
バスで		東京	高速バス 約5時間30分			山形市内
お車で		浦和本線(川口JCT)	東北自動車道 約3時間50分	村田JCT	山形自動車道 約30分	山形蔵王I.C

#### 仙台から

電車で		仙台空港	仙台空港アクセス鉄道 約20分	仙台駅	仙山線 約65分	山形駅
バスで		仙台駅	高速バス 約1時間10分			山形市内
お車で		仙台宮城I.C	東北自動車道 約10分	村田JCT	山形自動車道 約30分	山形蔵王I.C

紅花まつりの開催日程など、観光情報はWebサイトへ

山形県村山地域の観光情報ポータルサイト「山形県のほっぺTourism」

<https://yamagata-kouiki.info>



【必ずお読みください】※当パンフレットに掲載されている情報は2026年3月現在のものです。商品価格・内容は各種データの変更、時期による変動や臨時休業などご利用できない場合がございます。予めご利用の際にご確認ください。※写真・イラスト等は全てイメージです。実物とは異なる場合があります。また、掲載されている地図の位置や縮尺などはおおよその目安となるものです。※掲載の各観光施設・店舗等の営業時間及びイベントの開催日時等は変更になる場合がございます。予め出発前にご確認ください。※掲載の電話番号は、各施設の間合せ用のため、現地の番号と異なる場合があります。カーナビ等での位置検索で実際とは異なる場所を示す場合があります。また、パンフレットに掲載された内容により生じたトラブルや損害等については、やまがた広域観光協議会では補償いたしかねますので、予めご了承願います。